



第69号 2021年12月10日  
富山県合唱連盟

事務局 北日本新聞社事業局内  
〒930-8680  
富山市安住町2番14号  
TEL (076) 445-3355  
FAX (076) 431-1924  
発行人 中井 隆 司



会場の様子



富山いずみ高等学校合唱部



射水市立小杉中学校合唱部



富山大学合唱団 全日本合唱コンクール



砺波市立出町中学校合唱部



女声アンサンブル舞歌 maika



富山大学人間発達科学部  
附属中学校コーラス部



砺波市立出町小学校合唱クラブ

第74回全日本合唱コンクール富山県大会  
☆令和3年8月8日(日) ☆アイザック小杉文化ホール・ラポール

# 第74回全日本合唱コンクール

## 富山県大会・中部支部大会・全国大会

### ☆富山県大会

8月8日(日) 午後1時より、アイザック小杉文化ホール・ラポールで第74回全日本合唱コンクール富山県大会が開催されました。審査員に合唱指揮者の小牧伸輔氏、声楽家安藤常光氏、田島達也氏をお迎えして、小学校、中学校、高等学校、大学職場一般の四部門に7団体が出場しました。

### 審査結果

#### ◆小学校部門

金賞・県代表

出町小学校合唱クラブ

◎小学校部門は試行期間につき、県連の推薦により全国大会に出場。

#### ◆中学校部門(同声/混声合唱の部)

金賞・県代表

小杉中学校合唱部

金賞

出町中学校合唱部

富山大学人間発達科学部

附属中学校合唱部

#### ◆高等学校部門 Aグループ

金賞・県代表

富山いずみ高等学校合唱部

#### ◆大学職場一般部門

・大学ユースの部

銀賞・県代表

富山大学合唱団

・室内合唱の部

銀賞・県代表

女声アンサンブル舞歌maika

◎全日本合唱連盟理事長賞

小杉中学校合唱部

## 「ベストを尽くした富山県大会」

女声アンサンブル舞歌-maika- 廣井 志織

信州への旅を夢見て創団当初から楽しみにしていた長野県での中部大会。コロナ禍2年目で今年はどうも開催されるらしいと何とか対策を取って練習し臨んだ富山県大会。日に日に県内の新規感染者数が増えて、いつ中止を宣告されるかドキドキしながら当日を迎えました。

私たちにとって初めてのアイザック小杉文化ホールでのコンクールで、緊張するやら暑いやら(南側のガラス張りロビーでの待機の暑いこと)で、課題曲一声目で「しまった!」の大事故。終了後、このままコロナが感染拡大すると中部大会は県大会録音での録音審査になるとわかり真っ青に。翌週には富山市もまん防適用となり身動きが取れなくなってしまいます。再録音を目指すかどうかメンバー同士LINEで喧々諤々議論を交わしますが、「どんな演奏であろうと富山県大会での演奏は、準備いただいた私たちの全力だと思う」というメンバーの言葉が刺さりました。

2020年春からの私たちの1年半。必死に歌い続けてきた結果はほろ苦かったかもしれませんが、その過程は誇れるものだったと思っています。

## 「声心統一」

小杉中学校合唱部 3年 石黒 陽菜

私たち小杉中学校合唱部は、「声心統一」のスローガンのもと、毎年夏から始まるコンクールで「全国大会で金賞」を目標に掲げ、地道な努力を重ねてきました。今年はコロナ対策で、例年とは違う形式でコンクールが行われ、戸惑うことも多くありましたが、小杉中学校合唱部としては初めて、全日本合唱コンクール富山県大会で金賞・県代表を受賞することができました。しかし、長野県で開催される予定だった中部支部大会は録音審査となり、全国大会につながるステージで歌うことはできませんでした。審査結果は銀賞。思うような形でコンクールを終えることができなかった悔しさは大きく残りましたが、仲間と合唱ができることの喜びや自分たちの歌声を聴いてもらえることの幸せを改めて実感することができたコンクールとなりました。

合唱部は現在、もう一つの目標である第二回定期演奏会に向けて準備を進めています。コロナ禍という暗く困難な状況が長く続いていましたが、私たちの歌声が夜明けを告げる光となるよう明るく希望にあふれたステージにしたいと考えています。

是非、会場に足を運んでいただき、小杉中ハーモニーを聴いてください。



小杉中学校合唱部



出町小学校合唱クラブ



出町中学校合唱部

## ☆中部支部大会(録音音源審査)

日時 9月25日(土)・26日(日)  
場所 キッセイ文化ホール(長野県)

### 審査結果

銀賞

小杉中学校合唱部

(中学校部門 同声合唱の部)

富山いずみ高等学校合唱部

(高等学校部門 Aグループ)

富山大学合唱団

(大学ユースの部)

銅賞

女声アンサンブル舞歌matka

(室内合唱の部)

## ☆全国大会

日時 11月6日(土)

場所 所沢市民文化センターミュージズ  
アークホール(埼玉県)

### 審査結果

銀賞

出町小学校合唱クラブ

## 全日本合唱連盟よりご案内

「おかあさんコーラス

オンラインフェスティバル2021」開催!

コロナ禍で中止となった「おかあさんコーラス全国大会」の様子が全日本合唱連盟の公式YouTubeで無料配信されます。

配信スケジュール

第一回12月11日(土)

第二回12月12日(日)

第三回12月18日(土)

第四回12月19日(日)

いずれも15時〜配信スタート

女声合唱団「コーラス」は、第一回目に出演!!

※視聴アドレスは後日公開します。

※詳細は、全日本合唱連盟HPをご覧ください。

## 「コロナ禍での最高の思い出」

富山いずみ高等学校 3年 平林 穂乃佳

今年のコンクールはコロナによる制限のある中で開催されましたが、昨年できなかった分、喜びと感謝を感じられる高校生活の思い出に残るものでした。コロナ禍での部活動は簡単にはいかず、マスク着用での歌唱はプレスが上手く出来ず大変な上、ソーシャルディスタンスも取るとなるとお互いの声が聴こえ辛く、合わせをする時にも難しい事が数多くありました。しかし今年はコロナ禍にあっても集まって練習ができる喜びは今まで感じたことのないもので、コンクールに向けた練習の日々は楽しい時間でもありました。

1・2年生にとっては初めてのコンクールで、本番当日はみんなとても緊張していました。3年生は昨年出られなかった先輩の分も頑張ろうという気持ちと、いずみ高校らしい女声合唱でコンクールを楽しもうという気持ちでいっぱいでした。舞台袖で出番を待つ間、楽しみで自然とみんなから笑顔が溢れていました。いざ舞台に立つと、照明に照らされて輝く私たちに鳥肌が立ちました。歌い終えた時、みんなからは「楽しかった」の一言しか出ませんでした。

中部支部大会は残念ながら録音審査という形になってしまいましたが、コロナ禍にあっても部員全員でコンクールに出られたことへの喜びは最高のものでした。コンクールを開催してくださった皆様、本当にありがとうございました。

## 「合唱コンクールに参加して」

富山大学合唱団 越智 さゆり

昨年度はコロナ禍ということで中止になってしまった合唱コンクール。今年度はどうなるのか不安と心配が残る中、新しく9人の1年生を迎えて練習が始まりました。練習が始まった後も活動ができない期間があったり、進むスピードが考えていたものと違ったりなど思うように練習が進まず、様々な問題もありました。

しかし、限られた練習時間の中、課題曲、自由曲の二曲を団員皆で意見を出し合ったりアドバイスし合ったりと協力しながら練習を進めていくことができました。

そんな中、無事県大会を迎えることとなりました。

本番では、舞台上ではマスクを外して歌う予定だったのが、マスク着用のままになったりと変更点もいくつかありましたが、ようやくコンクールという舞台に立ち全員で合唱をすることができて感慨深いものがありました。また、他団体の演奏も聴くことができ、同じく合唱を楽しむ人たちの熱意や思いをとっても感じました。そして、改めて合唱は良いものだと感じるきっかけにもなったと思います。

中部大会は残念ながら情勢を鑑みて録音審査となってしまいました。ステージで歌うことができなくなり、不完全燃焼となった部分もありましたが、その上で実際に集まって歌えることの大切さやありがたさを感じました。今年度の合唱コンクールは今まで考えることのない部分での合唱についての考えや思いをしっかり受け止める機会になったと感じました。これを踏まえて今後も活動していきたいと思っています。

## 幻の「めざせ、ひまわり賞!」

女声合唱団「コーラス」

林 紀代美

「ひまわり賞めざして頑張ります!」と、大きなひまわりを掲げ声高らかにオープニング自己PRした全日本おかあさんコーラス全国大会…。

昨年来のコロナ禍で自由に歌うこと集うことはもとより、日常生活のあらゆる面での制限が余儀なくされ、誰もが計り知れぬ恐れと不安の日々を送る事となり、日頃あたり前に思っていた環境がどんなに尊く有難いことかを痛感させられました。この状況下、奇跡的に昨年9月に三宅悠太先生の委嘱作品「いのちへのオマージュ」女声版の初演奏会を開催する事ができ、会場一体の熱気と興奮、感動を肌で感じました。

その感動を再び!と、今大会出場を決意しましたが、収まることを知らぬコロナの猛威の中、当初のリアル出演で浜松へという思いも断念せざるをえない状態になりました。急遽リモート出演に変更し、それに伴い限られた日数の中、日程調整他めぐるしい対応に追われてのリポート録画本番。充分な練習もままならない本番となりましたが、コロナ禍を経験の皆の歌声は、心地よい緊張感と歌う喜び歌える喜びに溢れた、今だからこそその熱い想いを込めた最高の瞬間でした。

最終的には、コロナ感染の爆発的拡大により全国大会は中止となり、あつげなく終わった幻の大会となりましたが、チーム丸となり取り組んだ熱い想いは私達の宝物です。次のチャンスを楽しみに練習に励みます。

富山いずみ高校合唱部  
第20回コーラスコンサート  
令和三年七月十八日(日)  
富山県教育文化会館ホール

2年ぶりに校歌「友よ、泉のように」で幕を開けたコーラスコンサートは、第一部がコンクール課題曲等の演奏、第二部はミュージカルステージを披露しました。宝塚出身の青葉みちるさん、本校3年部員による振り付けで、『天使にラブソングを…』『グレイテスト・シヨーマン』等から「Hail Holy Queen」「Joyful Joyful」「This is me」等の5曲を歌い踊り、照明・演出等にも工夫を加えて思い出に残るステージとなりました。感染症対策のため学校関係者のみの公開でしたが、あたたかい拍手に包まれ、創立120周年の節目を飾る演奏会を無事開催できた喜びを味わいました。

富山高校コーラス部

第51回コーラスコンサート

七月二十二日(木)

富山県教育文化会館ホール

7月22日(木) 富山県教育文化会館にて2年ぶりにコーラスコンサートを開催することができました。私は今年、富山高校へ着任しコーラス部の顧問となりました。コンサートの準備を進めるにあたり、生徒たちがコロナ禍で不自由な中、温めてきた2年間の想いと、代々受け継がれてきたOB・OGの素晴らしいサポートへの感謝を会場に届けられるコンサートにしたいと考えていました。

プログラム内容の決定については生徒たちとミーティングを重ねて進めました。恒例の第2ステージ(生徒が企画)の台本は、コロナ禍での彼らの2年間の気持ちや様子が描かれた内容でした。「仲間と歌えることの尊さ」、「当たり前が当たり前ではなくなった時に気が

づく空しさ」を素直に表現しながら、部員全員で作りに上げたステージとなりました。また例年行っていたOB・OGとの合同合唱は残念ながら実施できませんでしたが、遠方から足を運びリハサルを見守ってくださる方や当日スタップとして支えてくださった多くのOB・OGのおかげで盛会に終えられたことに心から感謝したいと思います。

富山東高校合唱部

第52回コーラスコンサート

七月二十四日(土)

富山県民小劇場オルビス

昨年度は新型コロナウイルスの影響で残念ながらコンサートができませんでしたが、今年度も状況をみながら自分たちができる範囲で練習や準備に取り組んできました。当日は3部構成のステージで、客席数を限定し、家族、学校関係者のみの入場としました。3年生にとって最後のステージとなり、多くの方の協力のおかげで無事コンサートを終えることができました。

富山中部高校コーラス部

第58回コーラスコンサート

七月二十七日(火)

富山県教育文化会館ホール

今年度はコロナ禍で多くの困難がありました。コーラスコンサートが無事に開催することができ、とても嬉しかったです。仲間と共に充実した時間を過ごし、自分たちの力をすべて発揮して本番に臨み、友達や先生方からもご好評をいただき、最高の経験ができたと思います。また、合唱の練習や披露の場を持ち続けていくには、支えてくださる方々の協力が不可欠なのだと感じました。合唱ができる感謝と喜びを、後輩たちも繋げていってほしいです。

合唱団「あるも」第22回演奏会

十月十七日(日)

富山市民プラザアンサンブルホール

昨年度はコロナの影響で開催できなかった合唱団「あるも」は10月に開催することができました。ステージの収容人数制限や観客の制限等の中で招待客のみでありましたが、流行歌ステージ、木下牧子の「夕ぐれの時はよい時」、横山智昭の「いのちのうた」の3ステージ構成で開催しました。厳しい状況の中で2年ぶりに音楽を届けることができたことに大きな喜びを感じた演奏会でした。

第88回NHK全国学校

音楽コンクール

東海北陸大会

名古屋文理大学文化フォーラム(愛知県)

審査結果

小学校(8校出場)

10月2日(土)

金賞 砺波市立出町小学校

銅賞 南砺市立井波小学校

中学校(8校出場)

10月3日(日)

銀賞 砺波市立出町中学校

銅賞 富山大学人間発達科学部 附属中学校

高等学校(8校出場)

10月3日(日)

奨励賞 富山いずみ高等学校

審査方法：各県コンクールで収録した音声による審査

審査員

大志万明子(声楽家 金田典子(指揮者) 桜田直子(作曲家 中館伸二(合唱指揮者) 三宅悠太(作曲家)

全国大会

11月7日(日)

府中の森芸術劇場(東京都)

審査結果

優良賞 砺波市立出町小学校

編集後記

新型コロナウイルスの新規感染者数も落ち着き、加盟合唱団の皆さまも徐々に活動の再開や拡大を実施検討されている頃と思います。富山県内においても感染者数は大幅に減り気が緩みがちになりますが、練習や演奏会では引き続き全日本合唱連盟のガイドラインや自治体の指導に沿って必要な対策を確実に行っていきます。

さて、このコロナ禍は私たちが合唱愛好家に大きな転機を与えました。なかなか人数が集まらず、合唱団の運営が難しくなっている団体もあるかと思えます。でもそれは職業や年齢、持病や家族事情、更にはリスクへの考え方などで多様な人たちが集まり、一つの合唱を作ってきた証拠です。

これはまさしく合唱の魅力を表しているとも言えるのではないのでしょうか。今は厳しい時期ですが、今一度合唱の本質である歌う楽しさや歌える喜びに立ち戻り、やりたい音楽やできる活動を行いたいものです。従来の枠にはとられず、転機を生かして新たな挑戦をしてみませんか。

広報部部長 牧野 洋子  
副部長 本多以都子  
副部長 廣井 健一

